学校番号	3002

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　標準文学国語」（第一学習社）						
副教材等	漢字ボックス（浜島書店） 最新国語便覧（浜島書店） 論読　評論文（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報社会を生きる私たちに求められるものは、情報を適切に取捨選択し、内容を正確に理解し、活用していく力です。そして何よりも忘れてはならないことは、その先に「人」がいることです。我々は他者とコミュニケーションをせずに生きていくことはできません。適切なコミュニケーションをとるためには、相手の考えや思いを読み解く読解力、その中から必要な情報を取り出す分析力や判断力、そして自分の意見をよりわかりやすく伝えるための表現力が必要です。そしてこのすべてに共通して必要なことは、知識や語彙力を持ち合わせることです。この授業では、基本的な知識や語彙力を身につけられるよう、定期的に小テスト等に取り組みます。教材を通して、読解力や分析力、表現力の育成を図ります。また現実社会を生き延びていくための論理的思考をコンスタントに保つため、評論文を読み解く力も育成していきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 ［教材］ 「旅する本」	a:読書の意義と効用を理解する。 b[読]:「読むこと」において、短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取る。 c:自分自身の変化を実感させるほどの「もの」との出会いについて、積極的に過去を振り返り、その経験を説明しようとしている	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	様々な文学的話題や引用がもちいられた本作品を読んで、小説の奥深さとおもしろさを味わう。 ［教材］ 「富岳百景」	a:文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 b[書]:「書くこと」において、作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 c:本文中で話材として使われたり引用されたりしている文芸作品を積極的に調査、研究する姿勢が見られる。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
二学期	果を考え、人が虎になるとい表現の特徴が作品に及ぼす効う怪異の意味をふまえて作品の主題を考える。 ［教材］ 「山月記」	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解し、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 c:登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	仕事に向き合う態度と友人への思いがどのように変化するかを捉え、主人公にとっての「卒業」の意味を考える。 ［教材］ 「卒業」	a:文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[書]:「書くこと」において、作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。 c:寿々の仕事に向き合う態度や友人への思いの変化を粘り強く読み取り、「卒業」という題名の意味について、自分の考えをまとめようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
三学期	文語詩、口語詩に親しみ、多様な表現を理解し、その奥にある作者の心情を読み取る。 ［教材］ 「近代の詩」	a:文体の特徴や表現の技法を理解する。 b[読]:作品に表れているものの見方や考え方をとらえる方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係を踏まえて、解釈を深める。 c:学んだことを踏まえて、高校生活の集大成として実際に自分の考えを自分の表現で表そうとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　８０　）時間